



令和2年事業計画 骨子



株式会社LikeLab

《LikeLab基本方針》

創設から5年が経過し、LikeLabも地域への定着も図れてきた。

これからも選ばれる事業所を目指して、また地域のフラッグシップとなれるように、サービスの質の向上や新たなサービスの模索、組織力の強化を進めていく。

また事業所内保育事業等を検討するとともに、在宅ワークや資格取得支援など積極的にこれからの働き方を見直していく。

さらに経営陣においては多角的な視点を持つことや会議運営の手法などを見直すなどして、経営力の強化を図る。

《こども支援チーム基本方針》

これまで実施してきた、運動学習型放課後等デイサービスが地域に定着をしてきた。今後の時代のニーズに促しながら、新たなサービスモデルの策定を行っていくとともに、開所後5年を経過した久留米事業所の10周年での移転を目指し計画に着手する。法人内の作業療法士によるOTチームによる研修、助言等を通して事業所のサービス向上を図ってきた。今季は更なる向上を目的とし、保育士チームを立ち上げ底上げを図る一歩とする。

《おとな支援チーム基本方針》

就労継続支援A型事業所の就労会計問題に取り組んできたが、問題解決までの準備を行うことができた。おとな支援チーム全体として、工賃（賃金）向上を意識し、就労継続支援A型だけではなく、B型事業所でも、さらなる工賃向上を目指し、工賃向上委員会の再編成を行う。また、障害福祉サービス事業所の模範となるべく、事業所での機能の改善や、商品の選定、売り上げ向上の取り組みを行う。就労事業所として、利用者の生活を支えていく上で、訪問系サービスとの連携する記載も多く、訪問サービスの必要性について実感しており、今後は訪問看護などの訪問系サービスの検討も行っていく。Studio Linkでは、5Gという新たなインフラ環境への次なる1手を検討する。

《飲食部門チーム基本方針》

令和元年にカタルのからあげ及びスコーン専門店conne（コンネ）をオープンしたことで、飲食部門の店舗数も増えることとなった。そのため、提供する商品の数や、店舗数が増えたことでの管理体制の必要性も高まった。飲食部門では、各店舗で提供されている商品の商品開発やサービスの向上を図りながら、お客様へ喜んでいただける商品の提供を行えるよう取り組む。また、飲食部門の販売についての大変さを痛感しており、移動販売の検討など、再生・抜本的な変化の年とする。

《相談支援チーム基本方針》

今年度より、新たな人員体制での支援を行っていく。そのため、新たな人員の地域への周知を図りながら、信頼関係の構築に取り組む。

《総務部基本方針》

事業の拡大とともに、職員、就労メンバー含め80名を超える規模となってきた。

事業規模としても、人事・財務関係の業務も当初に比べ、大幅に増えている。総務部としての役割の整理までは出来ていないため、総務部として担う機能の整理を行い、組織内での役割の明確化を図る。求人強化。福利厚生整備。

《企画部基本方針》

企画部としての役割の整理までは出来ていないため、企画部として担う機能の整理を行い、組織内での役割の明確化を図る。その上で、各種部門の管理、中長期の事業計画、稼働安定対策、売り上げ対策、届け出や求人、内部コンコンセンサス、SNS対策など多岐にわたる一元管理を行い法人機能の整理、施作を図っていく。

事業の拡大に伴った、法人内での情報量についても大幅に増えてきたため、今まで、点在している機能の統合を図りながら、一元管理をすることで、全体的な把握を図っていく。

以上を令和2年株式会社LikeLabの事業計画骨子として、重点項目、事業計画進捗管理表、予算書の策定を行っております。

追記 この事業計画は今般の新型コロナウイルス感染拡大前に作成したため、その対策及び将来計画は別途期中に計画する。

令和2年4月1日
株式会社LikeLab
代表取締役 田中 崇